

海老名小学校 学校運営協議会 議事録
(令和3年度 第2回)

- 1 日時 令和3年11月17日(水) 10:30開会
- 2 場所 海老名小学校西棟1F会議室
- 3 出席委員 赤塚誠委員長、小田島恵子委員、生駒晶委員、谷向翔委員
奥泉憲委員、石田雅樹委員

4 会議の内容

(1) 学校長挨拶(奥泉校長)

○2学期を通しての児童の様子について

【話を聞く姿勢】

・昨日実施した地震のための避難訓練の際、全校児童が校庭に整列し校長講話を行いました。全クラスの児童が集中して話を聞くことが出来ました。相手の話をしっかり聞くことは、相手のことを大切に思っているということを伝えることであると指導してきたので、これからもこの姿勢を大切にしたいと思っています。

【気持ちの良い挨拶】

・様々な学校行事の場で地域の方や教育委員会の方々から、本校の児童が気持ちの良い挨拶をしてくれるという話を聞かせていただいております。相手の顔を見てしっかりと挨拶が出来ることの大切さを児童に価値付け、今後も全クラスで気持ちの良い挨拶を習慣づけていきたいです。

【時間を守る】

・本校では、校庭で遊んでいた子どもたちは休み時間終了の5分前に自分たちで時間を確認して教室に戻り次時の授業の準備を始めることが徹底されています。全校児童約900名が学校生活を気持ち良く過ごせるには、各自で時間を意識していくことがとても大切であることを、これからも子どもたちに伝えていきます。

(2) 令和3年度運動会について報告

○各学年の表現運動、5、6年生の鼓笛パレードを動画で紹介

奥泉校長：各学年とも運動会までに一生懸命練習に取り組んできたので、本番に多くの保護者の方にダンスなどを見ていただけて、子どもたちはとても喜んでいました。私としては、感染症の心配がある中で、当日無事に実施できたことが何よりも良かったです。保護者の方々には、感染予防のために参観者を1名にするなど、様々な制約がある中でも協力していただいたことに感謝しています。

小田島委員：各学年の演技はとても素晴らしかったです。特に今年新しく変わった5、6年生の鼓笛パレードは感動しました。その一方でこれまで引き継がれてきた鼓笛パレードの形にも愛着を感じていたのも、変わってしまったことについて少し寂しさも感じました。

赤塚委員長：実は自分自身も以前海老名小で勤めていた際に、5、6年生で鼓笛の指導をしたことがあります。今年のマスゲームを取り入れた新しい鼓笛パレードを見せてもらって感心しました。自分が関わっていた時代でも練習時間の確保や、特に鍵盤楽器を演奏する児童の気持ちをどう高めていくかなどを学年で良く話し合いました。今回鼓笛パレードを完成させるには先生方も大変だったのではなんでしょうか。

生駒委員：新しい鼓笛パレードは、とても素晴らしかったです。ただ今後は、支援級の児童がより参加しやすい形も検討していただけたらと感じました。

谷向委員：5年生の息子は家でもソーラン節をよく練習していたので、本番が出来てよかったです。今見せて頂いた動画（校舎4Fから撮影）は、ソーラン節の体形移動などもとても綺麗に見えるので、今後保護者に見せることはできないでしょうか。

石田教頭：動画の公開については、個人情報の保護等の視点も踏まえて、今後検討していきたいと思います。

奥泉校長：今年度は、感染症対策のために、学年団ごとによる3部制で実施しました。今年度実施しての課題を職員全員でしっかりと共通理解して、次年度また新しい形での運動会で子どもたちの活躍の姿を保護者の皆様に見ていただきたいと思っています。

（3）令和4年度年間行事予定について

奥泉校長：令和4年度の学校行事の実施計画をご報告します。今後変更もあると思われませんが、現時点で確定している部分をご報告します。今年度からの大きな変更点は、運動会を春に実施を予定していることです。2学期は学校行事も多く、特に5、6年生の児童にとっては、今年も忙しい学校生活を過ごしていました。そこで、運動会を春に戻すことで、高学年が少しでもゆとりを持って学校生活を送ってほしいと思っています。なお、5年生の野外活動は9月に、6年生の修学旅行は10月に実施する予定です。

（4）学校教育活動アンケート結果と各教科指導の状況について

○学校教育活動アンケート結果について

石田教頭：アンケート結果で高評価は、『自分で考え、よりよく生活しようとしている』、『宿題や家庭学習を頑張っている』、そして『感染予防をしっかりと行って生活している』の以上3項目でした。前記2項目については、学校での関わりばかりでなく、各ご家庭での子どもたちへの関わりも大きく影響していると感じ

ています。今後も保護者との連携を密に対応していきたいと感じています。また、感染対策については今後もしっかりと継続していきます。反対に評価が低いのは、『勉強で分からないことを先生や友だちに聞いていますか』という項目でした。分からないことを積極的に聞きに行く姿勢は、自主的に学習を進めてく上でもとても大切になるので、今後改善が図れるように考えていきます。

○各教科指導の状況について

奥泉校長： 感染レベルが1になり、2学期後半からは音楽の楽器の演奏や家庭科の調理実習も実施出来ています。意欲的に授業を受けている子どもたちの様子を見ると、技能教科での体験活動が教育的な価値がとても大きいことを再確認しました。今後、感染状況が落ち着いているならば、3学期にも様々な教育活動を展開したいと思っています。

生駒委員： ネコの手スタッフとしても、出来る範囲で授業の補助に協力したい。

奥泉校長： 様々な学習の場面で是非協力をお願いしたい。特に家庭科の調理実習については、昨年度経験していないので、子どもたちの補助を是非お願いしたい。

(5) その他 特になし

11:45 閉会